

SEVEN HILLS

The magazine for high net worth individuals

セブンヒルズ
世界を舞台に活躍する
資産家のための
マネー&カルチャー誌

11

NOVEMBER 2006 Vol.025



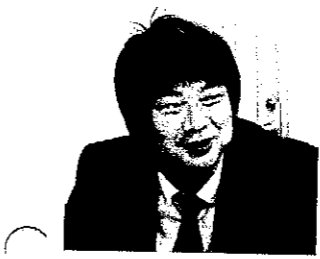
BOARDING SCHOOL

優雅を競う、“ルイ・ヴィトンクラシックポエム・ラン”
日常身に纏う、アートフルなジュエリー
変わる東京不動産事情

世界最高の
学校選び

「何のための学歴？」^{Part 1}「何のための学歴？」

世界中の大学・大学院をめぐると、グローバルな視点で優秀なエリートキーマンを
 養う教育機関が少ない。彼らキーマンの教育に学ぶべきことは、世界の学校とは何が
 どのように違っているか。スーパーエリート教育機関の教育哲学を、塾生、大学
 生のコンサルタントとして教育現場をアクトバイズする米田氏、教育コンサルタント
 スワールと聞かされた「世界最高の学校」について話を聞いてみる。



石井至 氏
いししいたる



米田隆 氏
よねだ たかし



石角完爾 氏
いしずみ かんじ

東京大学大学院医学系研究科修士課程終了（修士号取得）後、パンカーズ・トラスト、UBS銀行等を経て、1997年、石井兄弟社設立。現在、原宿駅前で幼児教室「アンテナ・プレスクール」を主宰する他、同社取締役社長として金融ハイテク技術のコンサルティングも行う。著書に『正しい「お受験」』（幻冬舎）『お受験突破ノート』（明日香出版）『合格力がつく500題』（飛鳥新社）などがある

早稲田大学を卒業後、日本興業銀行入行。91年に同行退職（在職中にフレッチャー・法律外交大学院修士号取得）。その後、グローバル・ベンチャー・キャピタル取締役などを歴任、99年より米国LPLフィナンシャル・サービスの日本法人「エル・ピー・エル日本証券株式会社」代表取締役を務める。2006年11月より会長に就任。慶応大学キャリア・リソース・ラボラトリー・研究員

教育コンサルタント、弁護士。京都大学法学部在学中に国家公務員上級試験、司法試験に合格。通産省を経てハーバード・ロースクールおよびペンシルベニア大学ロースクール修士課程修了。ニューヨークのシャーマン&スターリング法律事務所などを経て、81年千代田国際法律事務所を開設。著書に『アメリカのスーパーエリート教育』『知の管理術』などがある

名門私立校は依然として人気だが 東大を頂点とする価値観は揺らぎつつある

SH 今日は、「世界最高の学校選び」をテーマに語っていただきませんが、時代と共に「最高の学校」は変わっているとお考えですか。

石井 教育も分散投資の時代ですが、今、子どもをどのように配分すべきか、よく知っているのは、中国の新華僑の方々ですね。

米田 その分散投資先に、日本は入っていないでしょう(笑)

石井 残念ながらそうですね。例えば東京の公立小学校を見てみる

と、今後10年から15年が最悪の時期になるのではないのでしょうか。

団塊の世代の先生方が新人教師に置き換わり、個人的には学級崩壊率は3倍ほど跳ね上がると思っています。本当は公立学校が良くならないと、社会全体が良くならいんですけれど。

SH 私立の学校についてはいかがですか？

石井 私立の先生方は、子どもとのインターフェースが優れている

と思います。現在、一番人気が高いのは慶応幼稚舎で、倍率は16倍ほど。3代続けて慶応幼稚舎出身という方には、出身者のネットワークの中だけで豊かな一生を送られる方が多いです。最初からその輪に入っておくのは、人生をサバイバルするためにも効果的だと思います。安倍総理大臣を輩出した成蹊は、男女共学で、中学受験をスキップできて、本人の努力も必要ですが日本の大学ならどこへでも進学できる。女子校の中では、「女性リーダー」を育成する」というスクールミッションを明確に打ち出し、それ

を実践している東京女学館の倍率が断トツです。関西では、同志社と立命館が今春小学校を創設しています。特に同志社の教員のクオリティは非常に高く、両校とも全国的にも良い学校だと思います。

石角 私の世代までは、東大、京大、慶応、早稲田などを出れば一生安泰という考え方がありました。が、東大も、世界の大学ランキングで良くて50位に入るか入らないかというレベルの大学であることが分かってきました。そうになると、国内の一流大学を頂点とする見方にも疑問が生じます。



インターナショナルな学校では 世界に通用する人材がつくられる

米田 現在、私のコンセプトは、日本のコンテンツで世界を相手にビジネスをすることなのですが、日本には素晴らしい質と美があるのに、それを優れたビジネスセンスをもってグローバルなマーケットに打って出られる人材は極めて少ない。日本の人口は今世紀末には6400万人まで減少し、マーケットは縮小する一方ですから、世界とコミュニケーションする能力は今後ますます重要になってきます。

石角 要は、いざというときに、語学力が不十分という理由だけで選択肢が限られてしまうのはもったいない。しっかりと人生設計を行うべきですね。

米田 世界のトレンドであるニューエコノミーでも、ハイスキルのある人とロースキルの人の二極化が進んでいます。ITの発達で市場がグローバル化したために、感性の高いコンテンツがすべての富をさらっていくわけですね。その中で勝敗を分けるスキルとは何か？という点、要は表現力だと思えますよ。

石井 医療の分野でも、アメリカの優秀な医師は非常に高給取り。彼らは情報を広く開示することで、技能の高さや経験の豊かさを、国内だけでなく世界中に知らせていますから石角 サービスを受ける側に立ってみても同じことが言えますよ。先日、都内の病院の健康講座で、アメリカ

の最先端治療を受ける一環としてインターネット調査を勧められた患者さんがいましたが、最先端医療情報は全部英語なんです。英語ができないと困っておられました。それに、金融の世界で儲けるためにも、情報ソースにより近いところで少しでも早く察知できたほうがいい。翻訳された情報が日本の投資家の手に渡るのには、欧米人がさんざん儲けた後、このまま行けば、日本の国富の1400兆円が言語格差によって全部吸い取られるかもしれません(笑)。本当に損ですよ。

SH 外国語を身につけるには、幼少で頭が柔軟なうちから学習を始めるべきでしょうか？

石角 そうですね。乗り遅れないほうがいいと思います。
石井 石角先生がおっしゃるように、

ツールとしての語学力は土台としてもってほしいものです。でも、より重要なのは、中身である創造力、表現力、感性。日本の今の教育観で果たしてそれが育てられるのか、考えてしまいますね。まずは大学受験のシステムから見直すべきではないでしょうか？

米田 現在も昔ながらの入試を採用している大学は半分程度で、残り英語を重視したり、自薦他薦を広く受け入れているようです。いわゆる受験勉強というものをさせない千葉県の暁星国際高校や、茶道や花道など日本の文化を学ぶ機会を与えている東京女学館などは、中身の充実を大切にしている学校ではないでしょうか。

石角 脱走しても、どこにも行けないような田舎にある全寮制の学校が、教育には一番良いと思います(笑)
米田 おふたりは、英国のイートン校をモデルにした愛知県の海陽中等教育学校をどう思われますか？

石井 中身はまだよくわかりませんが、いい試みだと思えます。

石角 全寮制なので、私の考え方と合いますね。しかしイートン校は400年の歴史がある学校ですから、同じにはならないでしょう。学校教育の輸入は本当に難しいもの。植物の種をもってくるようなもので、土壌まで一緒にやないと同じ結果は出



せまけん。
米田 米田、旧制高校の良さを復活させようがよいのではないでしようか。

石角 アメリカのボーディング・スクールやイートン校が旧制高校と違うのは、根底は反権力で、政府からお金を一切受けつけないところ

です。そこで行われているのは、次代のリーダーの育成。つまり現在の価値観ではない。授業ではスポーツの公式戦で国歌を歌うのは違憲か否か、2グループに分かれて意見を戦わせたり、中学校の日本史の試験では、三島由紀夫と河上肇の論文をその場で読んで、2人の思想の相違につい

誰にとっても最高の学校ではなく その子にとって最良の学校を選びたい

米田 10年前にはあまり見られませんでした。今、国内の名門私立校の卒業生たちの間では、MITやハーバードを目指す動きが目立ちます。そこであえてチャレンジングなことを言わせていただくと、教育の場は、いわゆる学校だけではありません。他人との競争を意識すると学歴にこだわりますが、昨日の自分との競争と考えるとおのずと生涯学習を求めようになります。市場も今のよう

にアメリカ優位が続くかどうかかわからないし、変化に対応できる強い人

で教師と30分間議論させたり。本当に驚かされます。

石井 生物学の試験も、アマゾンで新種の生物が発見されたという想定で、それがどんな生物か描写させるようなものです。基礎知識が十分でなければ、とんでもない回答しかできません。

米田 環境問題に対する認識も量るような問いですね。

石角 虫食いの穴を埋めなさい、では、切り込み方が足りない。

米田 そういう意味では、真のボーディング・スクールは日本にはないですね。

間というのは、結局、学び続ける意欲が強い人間です。そうすると、最高の学校とは、学び続ける人間をつくれる場所のことではないかと思

います。
石角 学び続けようとする意欲や姿勢を、小中高のうちから自分のものにしておけ、ということですね。

石井 そうした資質を備えるには、まず何が必要だとお考えですか？
石角 あらゆる事象について疑問をもつこと。それが好奇心につながると思

ているのは、世界でもユダヤ教の人々だけ。彼らの教えのエッセンスをひとことと言うと、神の存在にさえ疑問をもて、というくらいです。付け加えると、アメリカに移ったユダヤの人たちの教育の原点はホームスクール、つまり家庭教育なんです。最初は違法とされましたが、親たちが闘って、今から20年ほど前に子どもを学校に行かせない権利を獲得しています。

米田 日本の教育現場では、一定量の記憶を組み合わせて考えさせることが頻繁ですが、そればかりだと若く瑞々しい感性が失われてしまします。我が家ではテレビをなくし、PCへのアクセスも制限して、子どもには読書と描画、自然の観察をさせています。

石角 今アメリカでは、米田式を取り入れたボーディング・スクールが一番人気ですよ。ニューハンプシャーの4km四方が森というキング・ジョージ・スクールは、新聞、ラジオ、テレビ、インターネットのすべてが禁止のメディアフリーで、親元にも年に3週間しか帰さない。創立4年ですが、入学競争は非常に激しいです。

米田 私のお客様で、ご息子がスイスのボーディング・スクールを出て、英国の名門大学に受かった方がいるんですが、スイスの学校の良さは、第一に学生が国際的で、実際に活

躍する人材を育てるためのプログラムが充実している、第二にアメリカのボーディング・スクールと比べて規模が小さく、教師との関係も近い、第三に欧米の大学への進路相談や受験対策にも対応する指導の細かさが増えられます。

石井 スイスの学校はアメリカの学校に比べると、アクティビティが多くて楽しいと聞きます。そのぶん学力的には、アイビリーグに卒業生を次々と送り込むほどではないのですが、ル・ロゼのような学校でしか享受できないものは確かにありますよね。

米田 結果として、アメリカとはケタ違いの資産家の子弟が集まるので、将来、その人脈を活用できたら素晴らしいですね。ユーロ外貨準備率が増えてきているなか、ユーロ世界を舞台に活躍できる可能性も広がってくるわけですね。

いずれにしても学校ごとに特徴はあります。どういう人間を育てたいのか、学校で何を身につけさせたいのか、どういう人生を切り開いてほしいのか、お子様の個性も考えながら、家族で話し合うことが大切です。誰に対しても一番良い学校ではなく、その子にとって最良の学校を選びたいものですね。
SH 本日はどうもありがとうございました。